

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：特別養護老人ホームしおさい新館

サービス種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

地域密着型通所介護 ・ 認知症対応型通所介護

日時：令和3年8月6日（金曜日）10時00分～10時30分

場所：しおさい会議室

出席者：8人

利用者代表	0人	知見を有する者	0人
利用者家族	2人	大田市職員	1人
地域住民の代表	2人		
事業所職員（職名：施設長 介護主任 ユニットリーダー）			3名

報告事項：

利用状況

- ① 入所者の人数 18名（退所3名 入所1名 定員20名）
- ② 要介護度 要介護5 9名 ・ 要介護4 9名
要介護3 0名 ・
- ③ 男女比率 男性5人 ・ 女性13人
- ④ 年齢 62歳～97歳 平均87.7歳

介護状況

- ① 介護職員数 12名
- ② 有資格者数 10名（介護福祉士）
- ③ 感染症罹患者 0名
- ④ 苦情相談 0件
- ⑤ 身体拘束 0件
- ⑥ 介護事故 6月～7月 4件（表皮剥離2件、座り込み2件）
- ⑦ 外出者 1名（医大病院 定期受診）

- ⑧ ボランティア 0件
- ⑨ ユニット行事 日光浴、歌の会、畑の野菜収穫、仁摩保育所園児来所、七夕会、法話会
- ⑩ その他 介護実習(トリニティカレッジ出雲)、消防設備点検・消防教育、窓越し面会 35件

1、施設長挨拶

連日 35 度を超える猛暑日が続いており、空調設備にて対応している。室内でも油断を許さない状況で、窓際では温度が高くなっている。気を付けていきたい。県内でもコロナ患者が出ており、全国では 1 万 5 千人を超えている。これからお盆や帰省の時期なので控えてほしい。

2、サービス提供の状況

○施設内事故(内訳)

- ・座り込み①→トイレに行きたかったようでご自分で起き上がりベッド横の床に座り込みがあった。外傷もなくお変わりなく過ごされている。
- ・座り込み②→持病の関係で体の硬直や緊張がある方。トイレに行かれた際、緊張がとれず、そのまま床に座り込まれた。外傷もなくお変わりなく過ごされている。
- ・表皮剥離①→爪が伸びておりご自分で親指の付け根を表皮剥離された可能性あり。こまめに爪の状態確認し爪切り実施している。
- ・表皮剥離②→居室からリビングに出られた際、テーブルに腕が当たり右上腕を表皮剥離した。皮膚の乾燥や状態が悪く、こまめな保湿、皮膚状態の確認を行っている。

○感染症対策

新型コロナワクチン接種：利用者 3 名、新館関係職員 18 名（約 60%）

接種希望利用者支援：主治医と接種希望者への対応を確認、しおさいが主治医との面談日を調整する。主治医と話しても接種意思に変わりがない場合接種。

感染予防対策：窓越し面会の当面継続を決定。

感染症対策学習：厚労省感染対策実地指導に手を挙げるも事務局の調整が難航、県内から別の講師を派遣する方向で調整中。

○防災

7月12日 8:04 土砂災害警戒情報

- ・ 散髪中止 入浴中止
- ・ 潮川水位モニタリング
(川の防災情報 HP でリアルタイム確認)
- ・ ライフジャケット着用準備
- ・ 一部フロアへの雨水少量侵入あり
- ・ 各拠点管理者間で町内情報共有
- ・ 危険度高い事業所からの避難を想定し
備蓄食・毛布類提供準備

9:34 仁万地区 避難指示発令 警戒レベル4

雨量減少、河川水位低下、状況注視

午後 概ね雨は小康状態に

17:01 土砂災害警戒情報解除 警戒レベル3へ

被害なし

今回の気づき

- ・ 警報発令時に施設課長、主任、リーダー不在。施設課長が自宅から指示。誰でも一定の対応ができるようマニュアル化要す。
- ・ 今回は河川水位が下がってきた段階で避難指示発令。この例から考えると、実際に避難を決断する場合にはまだ避難指示が出ていない可能性あり。避難所の受入体制との連絡・連携体制を確立する必要あり。
- ・ 現実に避難する場合は公用車、職員自家用車を使用予定。各フロアの傍に一部車両を横付けして待機させた方が良い。
- ・ 避難に職員自家用車を使用する場合の法的・保険的確認が必要。
- ・ 近隣の福祉避難所は仁摩保健センター。町内のすべてのサービスから避難集中すると建物に入りきれない可能性あり。市との事前検討必要。
- ・ 尿取りパッドなど吸水すると使えなくなる備品の保管方法に再考要す。
- ・ 避難後、混乱の中でも個人特定を容易にするため、名前入りのリストバンド等を避難前に着用した方が良い。
- ・ 避難先で使用するための最低限の福祉用具を携行品リストに追加する方が良い。
- ・ 漏電火災を防止するための設備確認が必要。(どのタイミングで大もとの電源を切るか決まる)

○行事報告

今までは本館のホールに集まって行事の参加をしていただいていたが、今年はコロナ感染対応という点で、各ユニットに行事レク委員や担当が出向き少人数での行

事を行っている。

- ・6月9日 仁摩保育所園児が来所。外でソーシャルディスタンスをとりながら歌や踊りを披露してくれた。久しぶりに外の空気を吸われた利用者は「気持ちがいい」「いいねえ」といいリフレッシュできた様子。園児をみて目尻が下がり笑顔になる利用者様が多かった。
- ・7月7日 セタ会 行事レク委員が企画し手作りの人形劇を行った。一日で4公演行い、より近い距離で鑑賞することができ、利用者も食い入るように見られていた。「よかったよ」という言葉を何度も聞くことができた。利用者も企画実施した職員も皆が良い表情になっていたのが印象的だった。
- ・7月14日 法話会 本館・新館に1名ずつ僧侶の資格を持った介護職員が在籍しており、分かれて法話会を行った。ユニットを荘厳しお経を読むと、利用者も一緒に読まれ、自然に手を合わせる様子もみられた。「有難いね」という言葉をもらい、また、「次は正信偈が良い！」という声も頂き、次に生かしていきたいと思う。

3、 サービスへの要望、助言、質問等

(地域住民代表)介護実習は、毎年1名くるのか。

→(介護主任)今年は1名だったが、2名のときもある。学校より依頼があった際には受け入れている。

(地域住民代表)法話会では皆様、正信偈を読まれるでしょう。

→(施設長)コロナ前は地域のお寺の住職へ依頼していたが、難しくなった。本館、新館に1名ずつ僧侶の資格をもった介護職員が在籍しており、自前で今年から行っている。

→(ユニットリーダー)今回は時間の関係から正信偈は読んでいない。しかし、馴染みのあるお経なので、次回時間の調整が出来たら読みたいと思う。

(家族代表)大雨の時、川は増水していたか。

→(施設長)実際見に行った。法人全体としては、むつみ苑の所の道路が泥水で川になりあふれていた。避難指示が出ていたが、ハザードマップで引っかかかっていなかった。ので待機した。また、郵便局の所が道路に水が入っていたがすぐ引いていた。避難するより待機した。ディサービスとヘルパーは送迎の時間と重なるため中止という判断を下した。

(地域住民代表)大田で心配なところはあるか。

→(市役所)中止したところはある。朝の時間帯で何かあってもいけないので。

→(施設長)何事もなかったのが良かった。しかし、特養の大きなガラス窓から水が入ってきた。しかしハザードマップにも引っかかっておらず安全である。しおさいも福祉避難所になっている。

→(地域住民代表)まちセンに地域の本部がある。

→(介護主任)多目的トイレの関係から仁摩保健センターが避難所になっている。

(市役所)人数的に仁摩保健センターに入りきらない可能性があることについて担当(危機管理課)と話をしたのか。

→(介護主任)今回感じたところなので話はしていない。しおさいというよりむつみ苑の避難になるのではと感じる。

→(市役所)もちかえり伝えておく。

→(施設長)保育園は高めにつくっている。避難せず待機できるつくりになっている。

5. 次回予定

令和3年10月1日(金曜日)10時~11時